

# 持ち帰り仕事・残業をしないですむ職場に

## 先生増やして 余計な仕事を増やさないで

# さいたま市教組新聞

さいたま市  
教職員組合  
TEL 641-6763  
FAX 648-3567  
e-mail saitama@kyouiku-net.org  
URL http://www2.plala.or.jp/saitama-sikyouso/  
2007.9.26(水)  
No.127

藤間教育長がビデオを通して市内全教職員に緊急の訓示を述べています。不祥事・事故が続いていること、さいたま市教委始まって以来のことだ、と述べました。

テスト漬け教育や「貧困と格差」の教育破壊はさいたま市に限ったことではありません。しかし、さいたま市独自の教育で小中学校はメチャクチャに忙しくなっています。教職員が感じているプレッシャ

が非常に重いものがあります。先生たちがどういう状況で働いているか一考を願いたいものです。危機管理能力という点からは、教育長として至極当たり前のことをしたとも言えます。しかし、訓示と同時に教育行政としてやるべきことがあるはず。仕事量に見合った教職員を増やして欲しい。自分のパソコンでは

なく公共備品のパソコンで仕事ができるように一人一台配置して欲しい。

今度さえ学年集団の打ち合わせの時間が取れないのに、放課後時間をとつての英会話等の打ち合わせをしているの現実を知っているのでしょうか。

やれ委嘱だ、指定研修だ、自主公開だ、市教研部会の委嘱だ、モデル事業校の発表だ、国際交流だ、交通安全

教室だ、読み聞かせボランティアだ、レッスとアルティメット、学校評議会だ、授業参観だ、歯みがき指導だ、防犯予防教室だ、バスケットボール大会だ、サッカー大会だ、駅伝大会だ、水泳大会だ、さくら草祭の金管パレードだ、吹奏楽演奏会だ、金管演奏会だ、公民館の文化祭での演奏だ、土曜公開だ、彩の国教育週間の公開授業だ、理科

展だ、創意工夫展だ、スリーデーズチャレンジだ、地域クリーン大作戦だ、等々きりがありません。全て要らないとは言いません。軽重をつける、学校の裁量を尊重する、ローテーションでやる等、もっと現場の教職員の意見を聞いたらどうなのでしょう。別表を見てください。過去五年間のさいたま市の小中学校の教職員の現職死亡、定年前退職者、病気休職者、内精神疾患の数です。明らかに増えています。今の状況が続けば、更に増え続けるでしょう。この現状を打開する施

### 02年度～06年度の市内教職員の死亡者 若年退職者・病休者・精神疾患者の人数

年度	現職死亡者	定年前退職	病気休職者	内精神疾患
2002年度	3	35	36	14
2003年度	4	47	43	20
2004年度	2	51	36	23
2005年度	2	71	48	27
2006年度	2	81	56	28

2007年9月21日、市教委の回答から作成しました  
死亡・定年前退職は小中学校のみ  
病休者・精神疾患は市立の小・中・養護・高校全体の数  
定年前退職は普通退職・勸奨退職・中途退職・死亡を含む

策こそ急いで実行すべきなのです。数式を示すのではなく、「世界の常識を断行して欲しい」。現場の声です。藤間教育長さん、教職員の切実な声が聞こえてますか。

### 四月以降、七校で図書館司書さん退職

今年度から、市内のすべての小中学校に図書館司書が配置されました。ところが四月以降、司書の方が一学期の途中で止めてしまった学校が七校あります。上落合小学校、栄小学校、土合小学校、北浦和小学校、大久保小学校、東浦和中学校、与野東中学校です。現在、二、三校を残して、司書の方は配置されました。なぜ、一学期で退職したのか。一番の原因は「給料が安い」からです。図書館司書の方は、二〇〇五年度までは年間一〇〇八時間の勤務でした。本好きな子どもになっ

て欲しい、本からいろいろの出会いを持って欲しい、と願って頑張っている司書の皆さんの待遇改善を強く要求します。

—第6回さいたま市教育研究会—  
子ども、父母、教職員が  
つながる学校・地域づくり

**10/12(金) 全体会** 入場無料

〈記念講演〉 世界をまわり、9・11を体験した記者が語る

**世界と憲法と子どもたち**

伊藤千尋さん

〇1年朝日新聞社ロサンゼルス支局長  
現任、朝日新聞社特派員、朝日新聞「e」編集長

時間 18:00  
会場 市民会館うらわホール  
18:20～アトラクション、18:50～記念講演

9:00～教科・専門部別分科会、13:45～異種別分科会

教科・専門部別分科会		異種別分科会
国語	算数	音楽
社会	理科	美術
英語	保健	体育
家庭	特別支援	その他

【会場】浦和北高校

〇只此開催一回  
会場は「大宮駅」徒歩、または「浦和駅」徒歩で下車  
〇小中学校別会場  
〇小中学校別会場  
〇小中学校別会場

主催：さいたま市教育研究会実行委員会 さいたま市教育センター さいたま市教育委員会 さいたま市立小中学校  
共催：さいたま市教育委員会 さいたま市立小中学校 さいたま市教育センター さいたま市教育委員会 さいたま市立小中学校  
後援：さいたま市教育委員会 さいたま市立小中学校 さいたま市教育センター さいたま市教育委員会 さいたま市立小中学校